

廃棄物資源工学研究室

教員名：朝倉 宏

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

廃棄物を資源化・処理処分する「より良い方法」を求めて探究する研究を行います。「より良い方法」には、たくさんの「評価軸」があります。例えば、大量のエネルギーを使って何でもかんでもリサイクルして埋立ごみを減らすのと、ある程度のリサイクルをして大半のごみを埋めるのとどっちがいいのでしょうか。どうしてそう思いましたか？

当研究室では、以下のような研究を行っています。

- ・ 埋立ごみの浄化促進（ごみが早く浄化すれば、管理にかかるコストが減り、かつ周辺環境汚染のリスクが減ります）
- ・ 建設廃棄物の安価な資源分離（処理費用を下げることは、不法投棄を防ぎます）
- ・ 建設廃棄物からの効率の良いアスベスト材除去（周辺環境を守ります）
- ・ 埋立地から発生する硫化水素ガスの抑制（悪臭・死亡事故を防ぎます）



● 先輩はどんなところに就職しているの？

卒業生の就職先としては、廃棄物処理プラントメーカー、地方公務員（土木職）、民間（廃棄物処理・資源化業）などの実績があります。

環境の分野にはどのような職種があるのでしょうか？公務員、環境施設プラントメーカー、コンサル、調査分析会社など多岐にわたります。私は以前、コンサルタントにおり、地方自治体の環境施策策定業務に従事しておりました。ごみの分別、処理施設の種類・規模等の基本的な計画を作成します。将来のごみ量変化、分別変更によってどのくらいごみが減り、資源が増え、また設備が必要になるか、A・B・C・D案と並べてそれぞれに環境保護性と必要な金額を積み上げ、最も良いと思われる案を判断してもらいます。このようにコンサルタントは施策策定の最前線で仕事ができます。公務員については、長崎県では、環境職という枠で募集があり、長崎県内の自然環境・都市環境（上下水、廃棄物処理など）保護の施策実施の場で活躍できるチャンスがあります。「環境の分野に就職したい」という仲間がほしいと思っています。